産学官フロントライン

公益財団法人　ちゅうごく産業創造センター
広域的な産学金官連携による産業創出・イノベーションの実現に向けて

1.　ちゅうごく産業創造センターとは

ちゅうごく産業創造センター（以下「産創センター」）は、中国地域における産業活性化および技術に関する調査研究、プロジェクトの発掘およびその実現化支援等の活動を行っている機関で、平成18年に旧中国産業活性化センターと旧中国技術振興センターの統合により発足し、平成23年４月１日に、内閣総理大臣からの認定により公益財団法人となりました。

産創センターでは、産業活性化のプロデュース機関として、次の３つのミッションを掲げて地域の発展に貢献しています。

【産創センターのミッション】

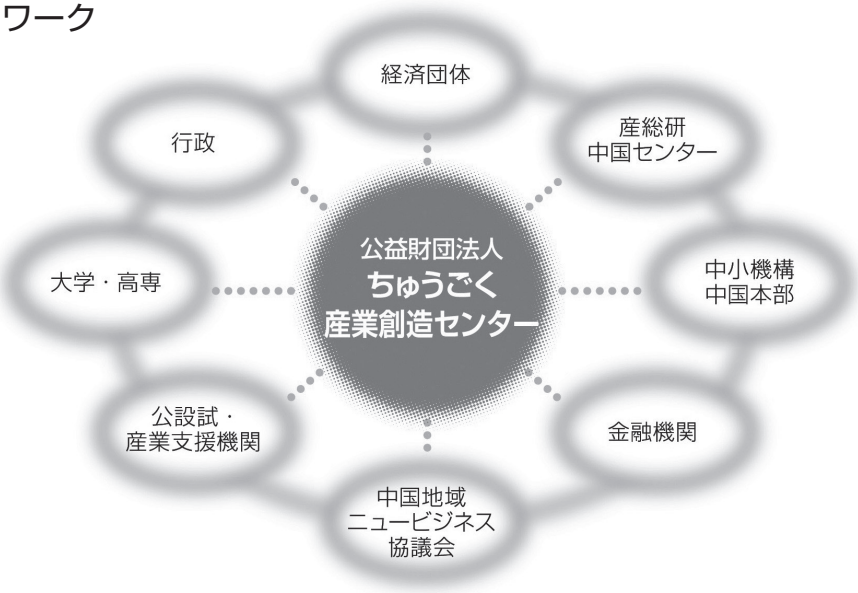
① 国・地方部局・自治体の政策と地域ニーズを反映した地域振興・産業活性化の方向性を発信します

② 産学金官の連携のもと、大学の研究シーズ等を中心に、産業創出のためのプロジェクトを推進します

③ 中国ブロックの中核的産業支援機関として、企業支援・研究開発支援機関との広域的な連携等により、新事業・新産業を創出します

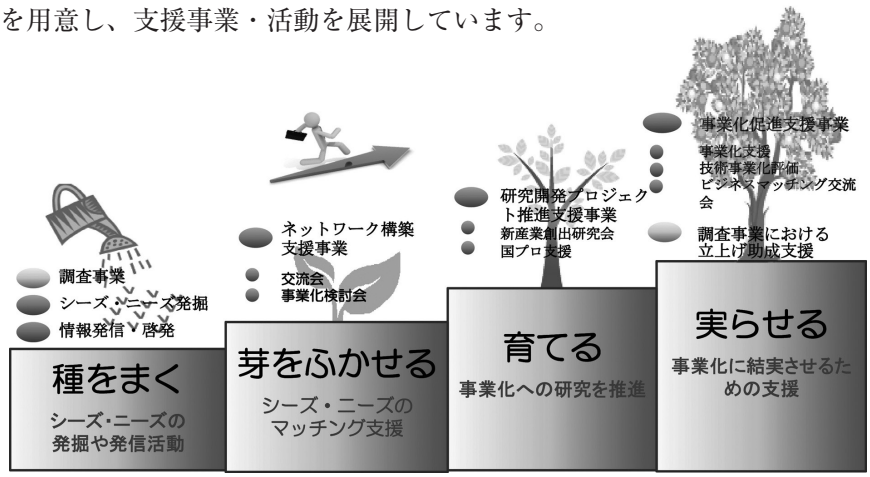
2.　産学金官連携ネットワーク

産創センターでは、未来志向の視点に立ち、地域の強みや独自性を踏まえ企業活性化・競争力強化を目指し、広域的な産学金官の連携を図りながら新産業の創出やイノベーションの実現を進めています。



3.　事業の流れ

産創センターでは、シーズ・ニーズの発掘から事業化まで、次の４つのステージに沿ったそれぞれのプログラムを用意し、支援事業・活動を展開しています。



4.　産学金官連携の主な事業活動紹介

（事業の詳細については、産創センターのホームページhttp://ciicz.jp/をご覧ください。）

(1)　調査事業

地域が必要とするその時々のテーマについて、産学金官の有識者で構成する委員会により調査・審議します。抽出された課題や提言については調査報告書に取りまとめ、行政機関、大学等広く一般に公開しています。平成26年度は、「ロボット技術導入と地域産業人財活用」「シェール革命の影響」「都市機能を形成する主要施設のリニューアル」「ユニバーサルツーリズム」をそれぞれキーワードとした４つのテーマに取り組んでいます。

(2)　交流会

産業に関するシーズ・ニーズを基に、関心を持つ産学金官の参加者による交流会を開催します。この交流会では、大学等の研究者や企業の専門家による最新のシーズ・ニーズの紹介や、事業化の提案などを情報提供し、参加者による意見交換を行います。この交流会を「出会いの場」とし、産学金官のネットワークを構築します。平成26年度は、「医療福祉機器」や「環境・エネルギー」など４分野を対象に計14回開催する予定です。

(3)　新産業創出研究会

地域に根差した新しい事業や新製品の創出を目指して、大学・高等専門学校において、応用や実用化研究段階にある、もしくはそれに移行しつつある研究シーズをもとに、参加企業の事業化や商品化という視点から課題を解決します。平成26年度は、15件の研究テーマを採択し、課題解決に向けて取り組んでいます。

(4)　質感色感研究会

平成23年度に、中国地域の企業や研究者の皆様と共に感性工学に基づく製品開発を目指す「質感色感研究会」を立ち上げ運営しています。成果を反映した新製品の開発を目指し、平成26年度も研究会や成果発表会等を定期的に開催する予定です。

(5)　技術事業化評価事業

中国地域ニュービジネス協議会、広島大学、中国経済産業局および中国地域内の15金融機関等と連携した事業です。新たな事業を計画している中小企業からの提案を受け、外部専門家を活用してその事業性評価を行っています。

【問い合わせ先】

公益財団法人 ちゅうごく産業創造センター　　TEL：082-241-9927　　FAX：082-240-2189
〒730-0041　広島市中区小町 4-33 中電ビル２号館２階　　E-mail：zdeki@pnet.gr.energia.co.jp